

旧多摩聖蹟記念館で企画展「多摩聖蹟記念館と建築家・蔵田周忠」を開催します！

1 概要

明治天皇の行幸を記念して昭和5年（1930）に開館した多摩聖蹟記念館（現・旧多摩聖蹟記念館）。

当館は、昭和61年（1986）に管理団体から市が寄贈を受けた後、市の指定有形文化財に指定され、平成14年（2002）に東京都の「特に景観上重要な歴史的建造物等」（*1）、令和4年（2022）には DOCOMOMO Japan による2021年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」（*2）に選定されるなど、建築の観点からも高く評価されています。



当館を設計したのは、^{せきねようたろう}関根要太郎（1889～1959）と関根の事務所に所属していた^{くらたちかただ}蔵田周忠（1895～1966）です。

近代日本における最初の建築運動をおこした分離派建築会に参加していた蔵田は、大正11年（1922）に技師として関根要太郎建築事務所に入所し、多摩聖蹟記念館や京王閣の設計を担当しました。本展は、蔵田周忠にスポットを当て、その生涯を振り返るとともに、建築という視点から旧多摩聖蹟記念館の魅力を捉え直す企画展です。

*1…東京都「特に景観上重要な歴史的建造物等」：文化財など歴史的な価値のある建造物や庭園等のうち、これらを含む周辺の良い景観の形成に特に重大な影響を与えるものとして、東京都景観条例に基づき東京都知事が定めるもの。ニコライ堂、日本銀行本店本館、国立西洋美術館本館などがある。（2020年3月現在：76件）

*2…日本におけるモダン・ムーブメントの建築：モダン・ムーブメントに関わる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織 DOCOMOMO の日本支部である DOCOMOMO Japan によって認定される近代建造物。国立西洋美術館、国立劇場、新宿駅西口広場駐車場、霞が関ビル、東京タワー、日本武道館などがある。（2023年8月現在：280件）

2 期間

令和6年（2024）2月29日（木）～令和6年（2024）5月26日（日）

※展示期間 88日間

3 実施主体

（共催）多摩市教育委員会・東京都市大学

（監修）岡山理香教授（東京都市大学芸術学／建築・デザイン）

4 会場

旧多摩聖蹟記念館（東京都多摩市連光寺5-1-1 都立桜ヶ丘公園内）

5 入館料

無料

6 関連イベント（予定）

(1) 学芸員による展示解説

（日時） 令和6年（2024）3月9日（土）、4月13日（土）、5月11日（土）

各日 10～12時、13～15時の15分程度

（受付） 事前申し込み不要。時間内に記念館事務室への申し出があり次第、随時実施。

(2) 講演会

（日時） 令和6年（2024）年4月 ※日程調整中

（場所） 東京都市大学（東京都世田谷区玉堤 1-28-1）

（登壇者） 岡山理香教授（東京都市大学） 他

<別添資料>

- ・旧多摩聖蹟記念館 2024 年度春季企画展「多摩聖蹟記念館と建築家・蔵田周忠」チラシ

問い合わせ

教育部教育振興課

電話：042（338）6883